

学校図書館の機能充実に関するインタビュー調査報告

中野区では『中野区教育ビジョン』及び『中野区子ども読書活動推進計画』に基づき、「学校図書館機能」の充実や、「地域開放型学校図書館」の整備を進めている。そこで、学校図書館の現状について、学校図書館担当教諭を対象にインタビュー調査を行った。

学校名	中野区立第五中学校	中野区立白桜小学校	
調査日時	平成 30 年 8 月 1 日	平成 30 年 8 月 7 日	
回答者	司書教諭 担当教科・社会科 1 名 (学校図書館部会部長)	司書教諭 1 名	
創立年月日	昭和 22 年 4 月	平成 21 年 4 月	
図書館の場所	3 階 コンピュータ室の隣	2 階	
生徒数	301 人 (9 クラス) 平成 29 年 4 月 7 日現在	417 人 (14 クラス) 平成 29 年 5 月 1 日現在	
学校図書館経営に関わること	運営方針 年間計画	なし	30 年度作成のものがあり
	司書教諭	発令されている	発令されている
	校務分掌	生き方指導部図書担当	図書部 3 人
	図書委員	18 人 (各クラス男女 1 人ずつ)	15 人 (5, 6 年生が担当)
	図書委員の 仕事	貸出等の手続き, 入館者数のカウ ント, 本棚の整理	貸出等の手続き, 入館者数のカウ ント, 本棚の整理
	学校図書館 ボランティア	なし	あり (読書旬間での読み聞かせや, 朝 読のお手伝い等)
学校図書館整備に 関わること	図書資料費	30 万円	35 万円
	選定回数	随時	年 2 回
	選定方法	学校図書館指導員が選書, 国語科の 教員が確認, 学校長が決裁。 教員のリクエスト, 生徒のリクエ ストともに受け付けている。	学校図書館指導員が選書, 学校長 が決裁。 生徒や先生からの要望を踏まえて 選書をしている。
	年間購入冊数	200~300 冊	200~300 冊

	蔵書数	約 9,500 冊	約 12,000 冊
	新聞	読売新聞, 朝日新聞 図書購入とは別会計	朝日小学生新聞 寄贈による
	目録	購入台帳を利用	購入台帳を利用(図書原簿に綴る)
	パソコン (インター ネット接続 あり)	図書準備室に 2 台 生徒用 1 台 (一回利用 3 分まで) 教員用 1 台	閲覧室に教員用 1 台
	その他機器	大型ディスプレイ 1 台	コピー機 (教員用) 1 台 大型ディスプレイ, ビデオデッキ 各 1 台ずつ
学校図書館サービスに関わること	開館時間	月・火・木・金曜日 (水曜日は学校 図書館指導員が休日のため休館) 昼休み, 放課後 (午後 4 時 15 分 まで)	中休み, 昼休み 学校図書館指導員の休日は, 司書 教諭が対応。
	1 日入館者数	平均 30~40 人	平均 40~50 人
	特別活動等	読書旬間時の昼休み, 約 200 人がド リームルーム(多目的室)に集まり, ビブリオバトル大会 (図書委員担 当) を開催。	全クラス, 「読書」の時間がある。 読書旬間時, 読み聞かせ, 読書ク イズ等をする。
	公共図書館 との連携	団体貸出の利用	団体貸出の利用
	図書館システム の導入	学校図書館システムと区立図書館 システムの連携をすることで, 資料 の幅が広がるので期待する。	蔵書の情報がデータ化され, かつ 区立図書館の図書も検索するこ とができるようになれば, 便利にな るので使うと思う。
	その他	部活動に「読書部」あり。 主に生徒個人の読書に関わる取組 であり, 週 1 回活動している。20 名が所属する。	参考図書を隣のスペースに別置。 名称を「知識の部屋」と呼ぶ。 読み聞かせをする絨毯を敷いた 「お話の部屋」もあり。
地域開放型学校図書館 について	中学校設置なし	図書館が 2 階にあるため, 構造上 設置するのは難しいのではない か。学校図書館指導員の入れ替わ りはないほうがよい。蔵書が刷新 されると聞いているので, その面 では期待する。	

まとめ

1. 両校とも司書教諭が発令され、学校図書館に学校図書館指導員が常駐している。
2. 第五中では蔵書冊数が約9,500冊あり、学校図書館図書標準^{*1}である9,040冊を満たしている。担当の司書教諭から出版年の新しい図書が必要との指摘があり、確認していく必要がある。
3. 白桜小の学校図書館の蔵書冊数は約12,000冊であり、こちらも学校図書館図書標準である8,760冊を満たしている。
4. 貸出方法は、両校とも書名を記入する貸出カードを使っている。
5. それぞれ、校舎の2階以上のフロアの端に位置し、児童・生徒（利用者）が比較的アクセスしにくい場所にあるといえるのではないか。そのため、図書館入口に「開館中」などの表示や「図書館便り」を掲示し、図書館利用を促している。館内のディスプレイも工夫されている（新着図書案内、特集だな、図書委員おすすめ本のお知らせ等）。また、昼休みの利用は多く、特に雨の日は両図書館とも普段の倍以上の入館者数となっており、多くの児童・生徒が過ごす場所としても機能している。
6. 白桜小学校では、4・5年生は隔週（学校図書館指導員のいる時間）で、6年生は毎週の前半・後半に20分ずつ、それぞれ「読書」の時間を設け、授業の一環として学校図書館活用が行われている。第五中学校では、ビブリオバトルが読書旬間の行事として、全校をあげて実施されている。学校図書館の「読書センター」としての利用が進んでいることがうかがえた。

*1 学校図書館図書標準とは、文部科学省より示され、学校図書館に整備すべき蔵書数の標準を設定したものであり、学校の種類や学級数によって決まる。

参考：“学校図書館図書標準”。文部科学省。 http://www.mext.go.jp/a_menu/sports/dokusyo/hourei/cont_001/016.htm, (参照 2018-09-05).